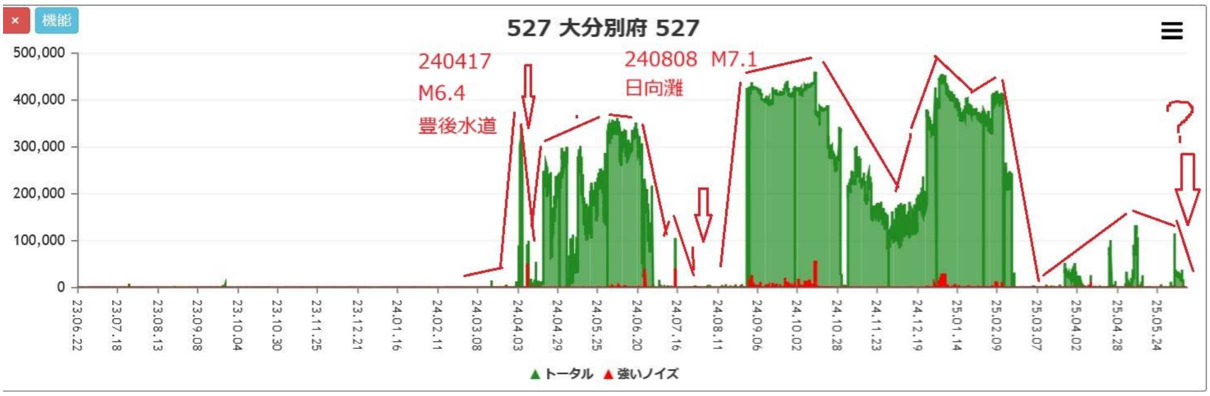
250611 【大分別府】の収束について

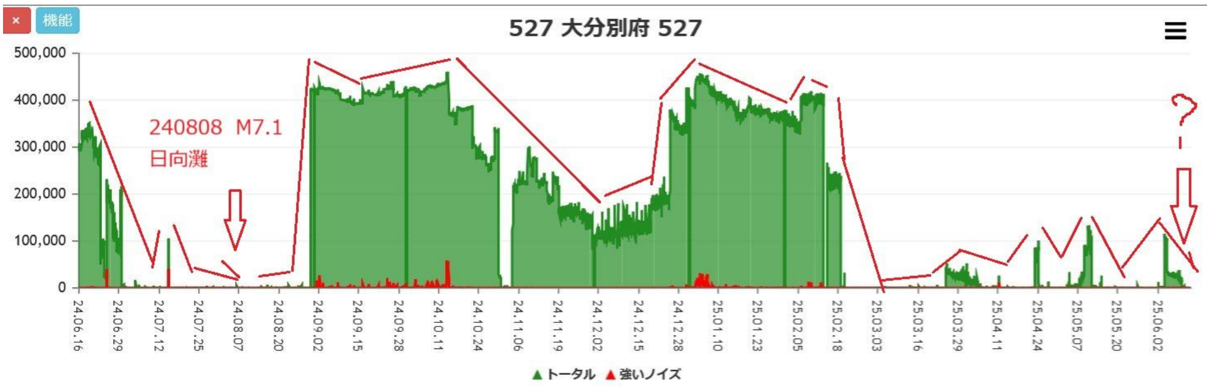
本日 6 月 1 1 日配信の逆ラジオ通信　No.69 W-250611 のトピックスに次のように載せました。
＜九州の大地震の可能性･･･　【大分別府】の塊状データの収束、今度は？＞
長く懸案の【大分別府】は　長期大型データが 2/20 頃に急に減衰した後、3 月後半頃から約 5 万から 15 万程の緑の変則的な塊状データが 4 つ出ており、現在は 4 つ目の塊状データが出ています。
この 4 つ目のデータは、6/2 頃から一旦上昇して 6/4 に約 11 万のピークとなった後に減衰し、3 万～ 2 万に下がった緑の連続データとなって、6/10 から収束が近くなっている状況です。
2/20 以前の大型データは約 40 万前後の大きさでしたが、その後の 4 つの塊状データが、仮に、大型データの継続した一連の物と考えると、豊後水道や日向灘等の大地震の発生はこの 4 つ目の塊状データの収束によることになり、いよいよ収束して来ています。　また【佐賀】の長期に続いた約半年の山の減衰が最終段階に来ているようで、【大分別府】の減衰と同期して、やはり九州の大地震の可能性が高いと思われます。そこで　いままでの予想をもう 1 度継続します。
　地震の規模：　M7.5 前後、
　震源：日向灘又は豊後水道、大分熊本周辺の内陸、
　発震予想日：本日 6/11 から約 1 週間程度

以下に関連のデータを載せますので、参考にしてください。

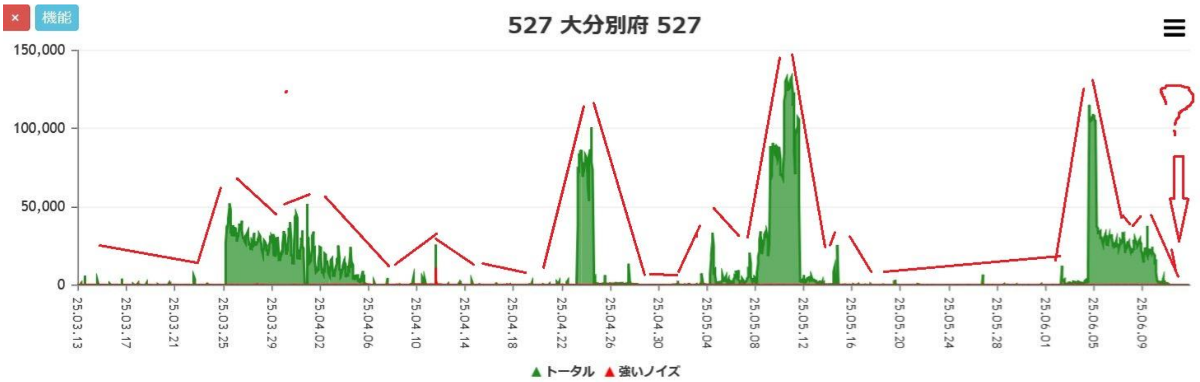
【大分別府】 720 日間データ



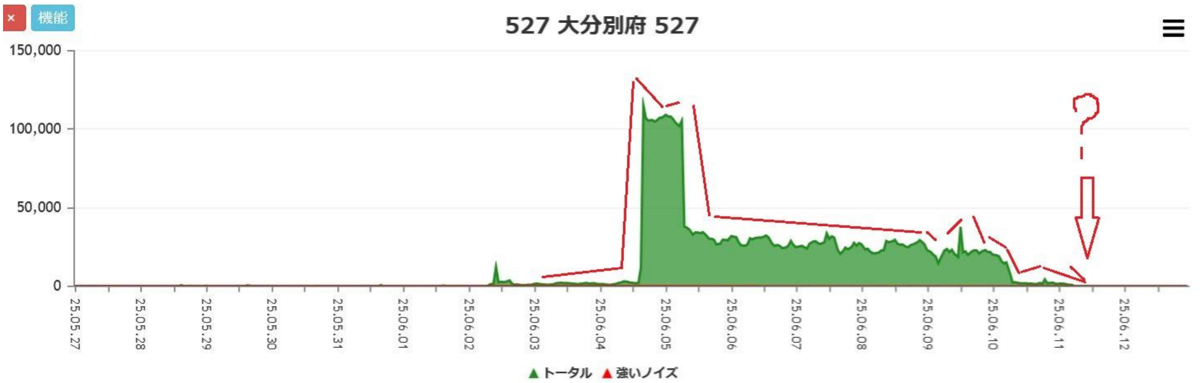
【大分別府】 360 日間データ



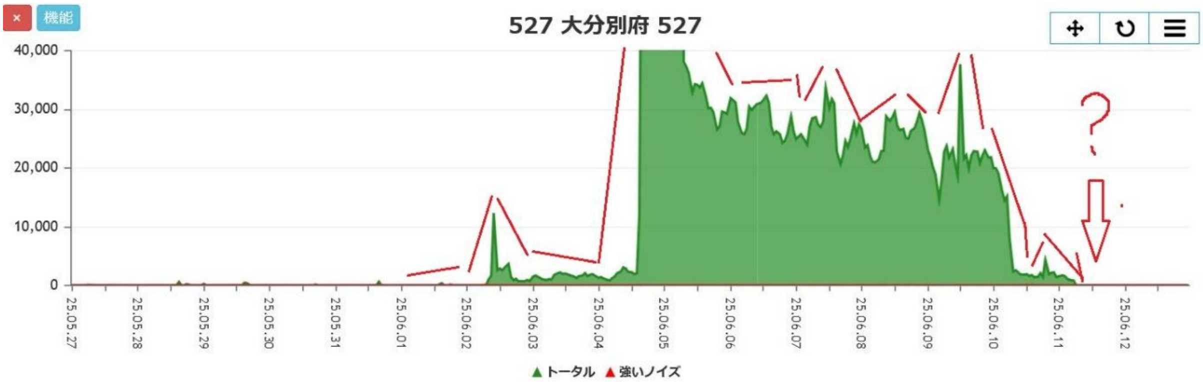
【大分別府】 90 日間データ



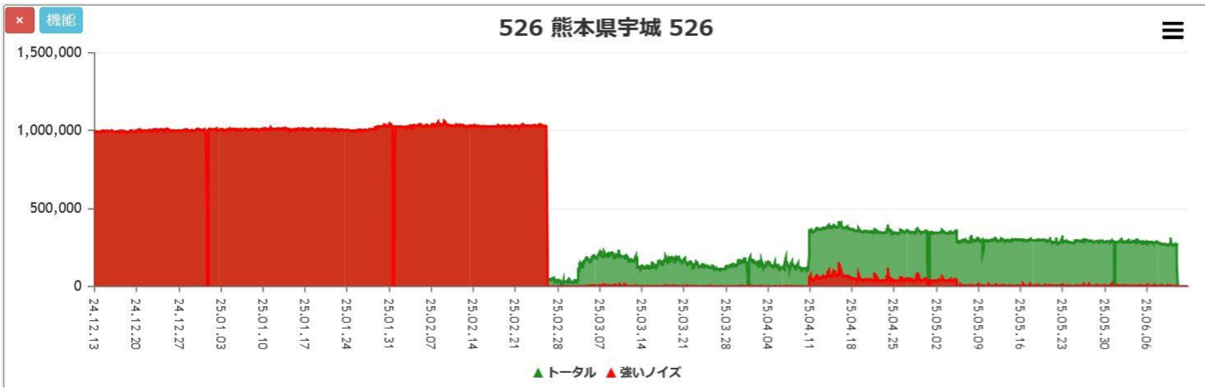
【大分別府】 15 日間データ



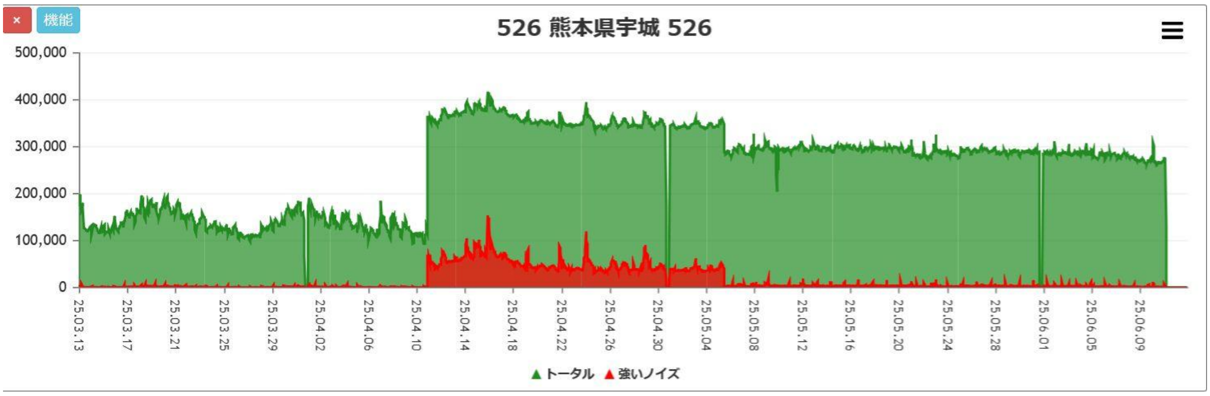
【大分別府】 15 日間データ（拡大）



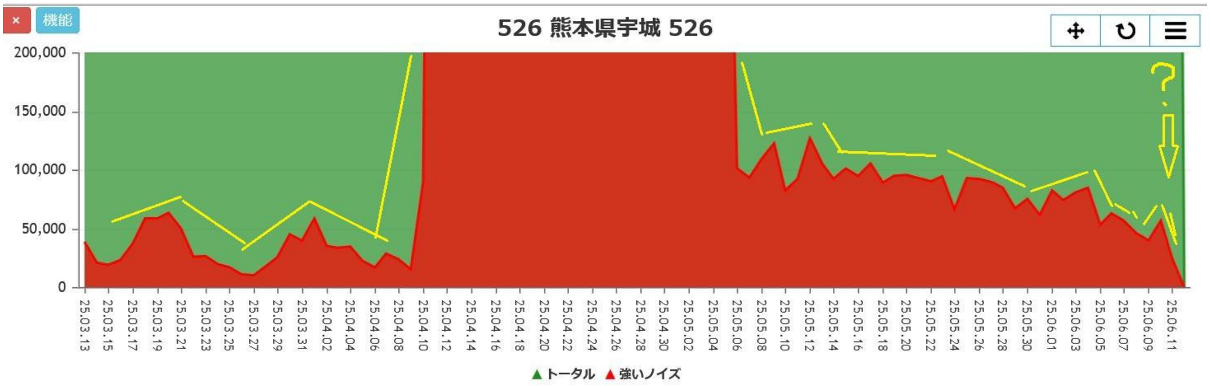
【熊本宇城】 180 日間データ



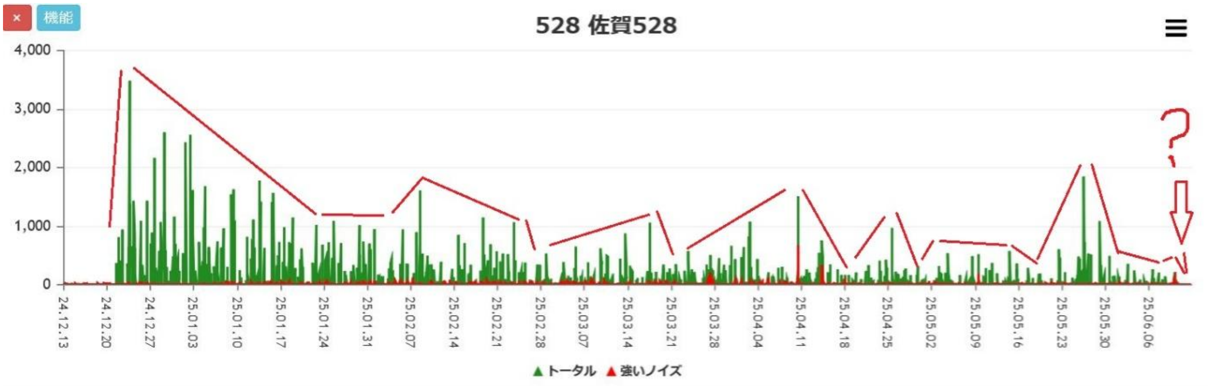
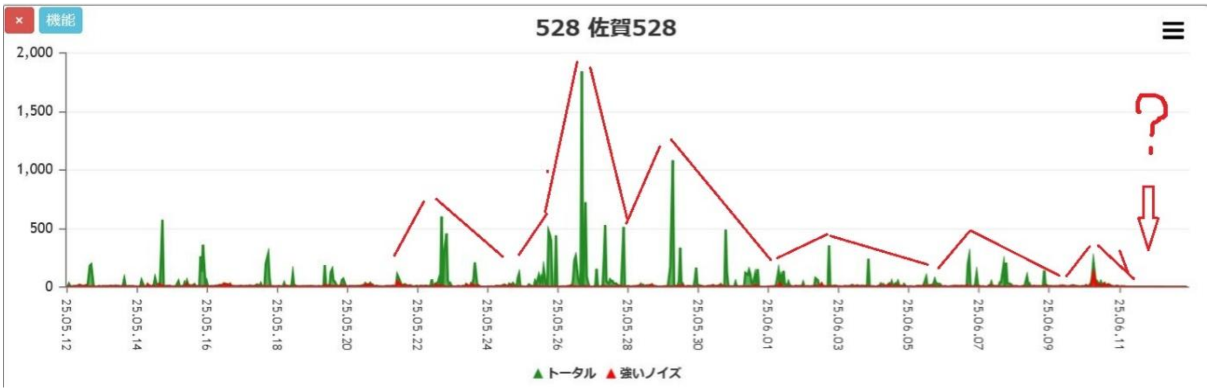
【熊本宇城】 90 日間データ



【熊本宇城】 90 日間データ(赤のデータの拡大)



【佐賀】180 日間データ



【佐賀】30 日間データ